

科 目 名	ビジネス情報	学科・学年・学級	情報ビジネス科・2年・選択
		単 位 数	3単位（週3時間）
		履 修 形 態	通 年
使用教科書	ビジネス情報（実教出版）		
副 教 材	情報処理検定試験 模擬問題集2006 1級 （一橋出版）		

この授業では、ビジネスに関する様々なデータを、効果的に活用する知識や技術を学習します。授業の内容は、コンピュータを利用した実習が中心となります。応用的な操作を、各アプリケーションソフト（表計算、データベース等）を利用しながら学習しますので、毎時間の積み重ねが大切となります。情報化社会に必要な知識や技能を身に付け、ビジネス情報システムの開発についての基礎を身に付けるように努力してください。

1 学習目標

- ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。
- ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化・自動化するなど、エンドユーザコンピューティングを積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。

2 準備物

- 教科書 （ビジネス情報 実教出版）
- ノート
- バインダー （実習で作成した作品を綴ります。）

3 留意事項

- 表計算ソフトの分析ツールを利用してビジネス情報を分析するなど、表計算ソフトを効果的に活用する方法を学びましょう。
- データや数字を読む力である計数的能力を身に付けましょう。
- データベースソフトウェアを利用し、ビジネスに関する各種データを合理的に蓄積しましょう。
- データベースソフトウェアで、蓄積したデータを使用し、「利用しやすいシステム」に主眼をおいてシステムを構築していきましょう。

4 学習計画

学期	月	時数	学 習 項 目	学 習 内 容	考 査	
第 1 学期	4 月	2	I 情報化と社会 1 業務の情報化 (1) ビジネスと情報 (2) 基幹業務システム (3) データ入力と集計	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスの場での情報の活用とその重要性について学習します。 ・ ビジネスにおける業務とそれを支援する業務システムについて学習します。 	中 間 考 査	
		2	2 エンドユーザーコンピューティング (EUC) (1) 情報化の進展とEUC (2) ネットワークとEUC (3) ネットワークとシステムアドミニストレータ (SA)			<ul style="list-style-type: none"> ・ EUCの意義やシステムアドミニストレータの役割について学習します。 ・ EUCによる情報活用の範囲と、ネットワークやLANなどの情報通信技術との関係について学習します。
	5 月	6	II ビジネス情報の分析 1 データの分析 (1) ビジネス情報の分析 (2) 市場調査によるデータ分析 (3) データ入力と集計 (4) グループ別の集計 (5) 集計結果の分析 (6) グラフ化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトウェアを利用したデータの分析方法を学習します。 ・ 自動集計機能の利用、件数のカウント (COUNTIF関数) の方法、クロス集計 (ピボットテーブル) の方法、ピボットグラフの作成について学習します。 	期 末 考 査	
		4	2 財務情報の分析と活用 (1) 財務情報の収集と分析方法 (2) 財務情報の分析内容			<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の収益性や安全性などを企業の作る財務諸表から分析し、その活用方法を学習します。
	6 月	8	3 販売情報の分析と活用 (1) 小売業をとりまく環境 (2) 売上高に関する情報 (3) 時系列で行う売上高の分析と活用 (4) ABC分析の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小売業を営む上で重要なデータの一つである売上高を、表計算ソフトウェアを利用して、分析する方法を学習します。 ・ 効果的な商品管理をするためのABC分析について学習します。 	期 末 考 査	
		7	(5) 利益貢献度の分析と活用 (6) 商品ポートフォリオの活用 (7) 損益分岐点の分析と活用 (8) 在庫管理			<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上総利益率や損益分岐点など販売情報を分析し、その活用方法について学習します。
	7 月	3	夏季休業中 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の学習内容の復習をします。 	課 題	
	第 1 学期 授業時数の計 (32)					

学 期	月	時 数	学 習 項 目	学 習 内 容	考 査	
第 2 学 期	9 月	17	4 手続きの自動化 (1) 手続きの自動化の考え方と方法 (2) マクロの記録と実行(1) (3) マクロの記録と実行(2)	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアの応用的な操作技術として、マクロに関する技術や処理手順を学習します。 	中 間 考 査	
			(4) エディタによるマクロの作成 (5) 基本的な文法 (6) 繰り返し処理(1) (7) 繰り返し処理(2) (8) 判断の処理	<ul style="list-style-type: none"> エディタを用いたプログラムの作成、編集、保存の基本操作を学習します。 一定回数を繰り返したり、条件により処理の選択したりするためのプログラム手法を学習します。 		
	10 月	1	III データベースソフトウェアの活用 1 データベースの役割と活用法 (1) データベースの特徴 (2) リレーショナルデータベースの仕組み (3) リレーショナルデータベースの構造	<ul style="list-style-type: none"> さまざまなデータを整理・統合したデータベースの概要について学習します。 リレーショナルデータベースを仕組みとその構造について学習します。 	考 査	
			23	2 データベースの作成 (1) データベースの設計 (2) テーブルの作成		<ul style="list-style-type: none"> 企業の業務の流れを理解しながら、システム全体の設計について学習します。
			11 月	1		(3) 情報の検索 (4) フォームの作成 (5) レポートの作成 (6) 手続きの自動化 (7) メニューの作成
	2	IV システム開発の基礎 1 システム開発の手順 (1) システム開発 (2) システム開発の基礎			<ul style="list-style-type: none"> システムを開発する技法（ウォーターフォール、プロトタイプ）やその方法（トップダウン、ボトムアップ）についての知識を習得します。 	
		2			2 基本設計 (1) 基本設計の手順 (2) システム化計画 (3) プロジェクト計画 (4) 要求定義	<ul style="list-style-type: none"> 作成するシステムの方向性を決める基本設計について学習します。
	12 月	5	3 外部設計 (1) 外部設計の手順 (2) 要求仕様の確認 (3) サブシステムの定義 (4) インターフェイス計画 (5) コード設計 (6) 論理データ設計	<ul style="list-style-type: none"> 業務の流れを確認する業務フローやメニュー画面などヒューマンインターフェイス等に関する意義や役割について学習します。 	考 査	
			第2学期 授業時数の計 〈 49 〉			

学期	月	時数	学 習 項 目	学 習 内 容	考 査
第 3 学期	1 月	14	4 データベース設計 (1) データベースの設計手順 (2) 概念設計 (3) 論理設計	<ul style="list-style-type: none"> 作成するシステム全体を考えながら、さまざまなデータのテーブル（記憶場所）への効率的な保存の仕方や設計方法、ドキュメントの作成方法について学習します。 	学 年
	2 月	4	5 テストと保守 (1) テストと保守 (2) データの入力 (3) システムテスト	<ul style="list-style-type: none"> システム上の誤りや設計上の誤りを見つけ出す各種テストの技法を学習するとともに、システムの保守管理の重要性について学習します。 	
	3 月	2	V 情報機器の導入と管理 1 ハード・ソフトの導入・管理 (1) ネットワーク構成とハードウェア (2) ネットワークの利用とソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの構築に必要な各種機器やソフトウェアについて学習します。 情報通信ネットワークを利用するための環境について学習します。 	考 査
		2	2 ネットワークの管理 (1) ネットワーク資源とアクセス制限 (2) ファイルサーバの管理(1) (3) 認証サーバによるアクセス管理 (4) ファイルサーバの管理(2)	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークで共有する資源（コンピュータやデータ等）を有効に活用するためのクライアントサーバシステムを構築する方法、ネットワークの運用や管理する方法について学習します。 	
		2	3 データの保護とセキュリティ管理 (1) セキュリティ管理の重要性 (2) バックアップの実際 (3) セキュリティ管理の方法	<ul style="list-style-type: none"> データの保護の必要性やデータのバックアップ方法、セキュリティの重要性や管理する方法について学習します。 	末 考 査
第 3 学期 授業時数の計 (24)					

5 学習評価

		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
I	情報化と社会 評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの諸活動に応じた情報処理システムについて関心を持ち、進んで調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの諸活動に応じた情報やその関連性について、思考を深めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの諸活動を効率的に遂行できる情報処理システムについて適切に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの諸活動に応じた、情報処理システムについての基礎的・基本的な知識が身に付いている。
II	ビジネス情報の分析 評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> データの分析方法について関心を持ち、表計算ソフトウェアの機能を用いて、進んで分析しようとする。 マクロ命令について関心を持ち、進んで学習しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> データの分析方法について、さまざまな分析方法を考察し、効果的な活用法について判断しようとする。 データ処理の特性に応じた、マクロ命令の効果的な活用法について判断しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> データの分析と活用について、さまざまな情報を適切に選択し、効果的な分析技能を身に付けようとする。 マクロによる自動化や条件分岐などの処理手順を身に付けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアを利用したデータの分析手法や、マクロによる自動化や条件分岐等の処理の仕方が身に付いている。 マクロのアルゴリズムが理解できている。
III	ソフトウェアの活用 評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> データベースの活用に関心を持ち、進んで調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> データベースの活用について思考を深め効果的な活用法について判断しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> データベースの特徴を理解し、作成技能や効果的な活用方法を適切に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> データベースの特徴や、その活用法に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
IV	システム開発の基礎 評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理システムの一連の開発工程に関心を持ち、自ら進んで調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理システムの特徴を考察し、それぞれの開発行程における効果的な設計技法について判断しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種のソフトウェアを利用してシステム開発に有用な分かりやすい文書が作成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理システムの一連の開発工程に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
V	情報機器の導入と管理 評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの構築・管理やセキュリティ管理について関心を持ち、進んで分析しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの問題点と、セキュリティ管理の必要性を考察しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの構築やそれを管理できる技術を身に付け、セキュリティ管理についても適切に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの構築・管理やセキュリティ管理に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解できている。
評価の方法		学習状況の観察 （自己評価の実施） 課題レポート （長期休業中及び指示した時期に提出）	学習状況の観察 （自己評価の実施） 課題レポート （長期休業中及び指示した時期に提出）	学習状況の観察 （自己評価の実施） 課題レポート （長期休業中及び指示した時期に提出） 検定試験 （全商情報処理検定試験 1 級）	ペーパーテスト （定期考査、単元別テスト、小テスト） 検定試験 （全商情報処理検定試験 1 級）